NIE実践報告

1．タイトル：☆さまざまな「投書」を読んで、自分の意見をまとめよう

2．学校名

北海道江別市立角山小中学校

3．実践者名（代表者名）

山下　恵里佳

4．学年

中学2年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　4人

6．単元（本時の学習課題）名

「人に優しい町づくり」及び「文章名人　相手意識　投書を書こう」

7．目標（狙い）

新聞の投書欄を活用して、さまざまな立場の人の考えを理解するとともに、根拠を明確にして自分の意見を簡潔に書く。

8．評価の視点

さまざまな意見の文章を読むことで自分の意見をはっきりさせ、自分の意見を支える根拠を明確にして表現することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「人に優しい町づくり」(教科書教材:教育出版　6時間)
「文章名人　相手意識　投書を書こう」(教科書教材:教育出版　1時間)　　合計　7時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)教科書教材「車イスから見た町」を読み、筆者の主張をとらえるとともに「自分」の感想をまとめる。(2時間)
(2)教科書教材「エスカレーターを考える」を読んで三者の主張をとらえ、自分が共感できる意見を選び自分の考えを書く。(1時間)
(3)教科書以外の他の投書を読んで、自分なりの意見を持つ。(2時間)
(4)根拠を明確にしてまとめるために、段落構成を意識しながら自分の意見を書くポイントをおさえて、実際に書く。(2時間)
(留意点)
・さまざまな投書を読むことで、他の人の意見に触れ、立場の違いを理解できるようにする。
・自分の意見が相手にしっかり伝わるように書くためのポイントを理解させ、3段落構成で書くパターンを身につけさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

さまざまな新聞の投書を読むことで、同世代や大人が日頃考えていることに触れることができた。そこから自分はどのような意見を持ち、それをどう表現すればよいのか何度も書くことで習得することができた。

12．成果と課題

成果としては、3段落構成を意識しながら、根拠を明確にして自分の意見をまとめる方法を身につけることができたと思われる。また、さまざまな投書を読むことで、いろいろな人の考えを知り、身の回りや社会、生活に関心を持つことができた。
課題としては自分の意見をまとめるポイントには気付けたとは思うが、それでも書けない生徒への手だてや配慮を考えていかなければならない。